

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年二月度 入選句 (投稿総数千七百四十七句・小中学投句数千百九十二句)

### 特選

選者 相馬 みさ子

ゆきだるまいちにちだけののおともだち 大垣市 まぶち けいこ(小二)

たしかに雪たるまは、一日だけのお友達ですね。だれでも一度は、雪たるまを作つて遊んだ思い出があることでしょう。次の日には、とけて消えてしまった姿にさみしさを感じますね。

この句は、「いちにちだけのおともだち」というフレーズに想いがこめられています。簡けつでリズムもよく、作者のかわいらしい素直な表現が印象に残りました。

ひなまつりははとくせいのおちらしずし 大垣市 伊藤 優我(小三)

「ははとくせいのおちらしずし」って、どんなちらしずしでしょう。教えてほしいな。きつと、とつてもおいしくて、素敵なちらしずしなのでしょう。お母さんのいっぱい愛情がこもつたちらしずしですから。

ひなまつりとちらしずし。家庭のほのぼのとした温かい情景がうかんでくる作品です。読み手も幸せな気持ちになりました。

霜ばしらかたいラップで草つつむ 美濃加茂市 長谷川 実祐(中二)

霜柱を「かたいラップ」と例えたところに感心しました。たしかに霜柱の透明感からラップを連想させますね。

霜柱の草をつつむ様子をかたいラップで包んだと感じたところに作者の想像力と豊かな感性を感じます。

作者なりの新鮮な表現で、新しい発見ですね。俳句は、発見から、よい句が生まれます。これからも物ごとをよく見て、俳句づくりをして下さい。

### 秀逸

花もちがはやくたべてとはじけとぶ 大垣市 西本 多恵(小四)

具が多い母の作った恵方巻 美濃加茂市 藤吉 楓(中二)

降れば嫌降らずも嫌な冬の雪 美濃加茂市 櫻井 萌佳(中二)

手袋をハンブロンコして手をつなぐ 美濃加茂市 立川 真央(中二)

おおなわでみんなのいきがびったりと 大垣市 木村 謙伸(小一)

バレンタインはやくパパにあげたいな 大垣市 ふじわら ゆら(小一)

おぞうにはおばあちゃんがいちばんだ 大垣市 さとう れん(小一)

ひな人形わたしも聞かせてふえだいたいこ 大垣市 松岡 優奈(小三)

雪うさぎ今にもピョンとはねそうだ 大垣市 浅野 聡美(小五)

菜の花のおひたし香る一品だ 大垣市 大橋 佑香(小五)

入選

雪つもる昼休みまでとけないで  
 白い雪ぼくの足あとついてくる  
 年がじょうだれにおくるかまよっちゃう  
 お正月かうんとだうん 一二三  
 年賀状とどいたあいて顔うかぶ  
 バレンタインすきなあのこにあげちやおう  
 霜柱何回踏んでもあきないな  
 雪合戦みんなえがおで大乱戦  
 まめまきでいろんなおにをおいだすぞ  
 たんぽぽのきいろいじゅうたんねてみたい

大垣市 高田 りつや(小二)  
 大垣市 小川 たいき(小二)  
 大垣市 さわ みく(小四)  
 大垣市 酒向 のあ(小四)  
 愛知県岡崎市 成瀬 葵(小四)  
 大垣市 小林 和花子(小二)  
 美濃加茂市 戸谷 雄大(中二)  
 美濃加茂市 広瀬 一也(中二)  
 大垣市 大ぜき はやと(小二)  
 大垣市 大河 杏瑠(小二)

入選

えほうまきねがいをこめてかんしよくだ  
 ふゆのあさママのスープであたたまる  
 お手つだいじぶんでつくったえほうまき  
 えほうまき今日はしよたくしずかだよ  
 犬ふぐりとところどころのピンク色  
 ひな祭り私もさんかきもの着て  
 桜の木新芽をつけてじゅんぴ中  
 お母さんといっしょにかざるひな人形  
 じいちゃんのはくさいすこしせがのびて  
 ココア飲み朝の勉強じゅけんせい

大垣市 山田 ゆず(小二)  
 大垣市 かわせ りず(小二)  
 大垣市 川股 悠月(小三)  
 大垣市 牧原 太郎(小三)  
 大垣市 多賀 遥(小五)  
 大垣市 山田 珠夢(小五)  
 大垣市 山田 実莉(小五)  
 大垣市 関口 実莉(小五)  
 大垣市 柘植 大和(小五)  
 美濃加茂市 村雲 流星(中二)

選者吟

生きざまを示して咲けり飛龍梅

みさ子